

議会だより

2025
NO. 57

令和7年
11月1日発行

議員が編集した、まんのう町民と議会をつなぐ広報誌



今回の定例会

懐かしい ^は ^ぎ 稲架かけ風景

令和6年度決算を認定	2
9月定例会	3
委員会報告	11
8人が町の考えを問う 一般質問	15
まんのう町の春夏秋冬	20



11月バージョン
まんテンちゃん



まんのう町議会
ホームページ

住みやすい町づくりを目指して

<https://www.town.manno.lg.jp/life/4/25/>

令和7年9月定例会

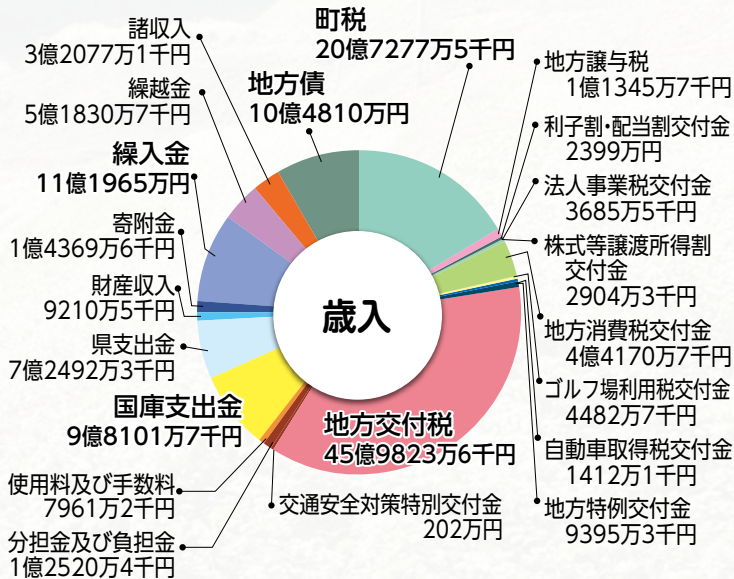
開催期間

9月3日～9月24日（22日間）

令和6年度一般会計歳入歳出決算

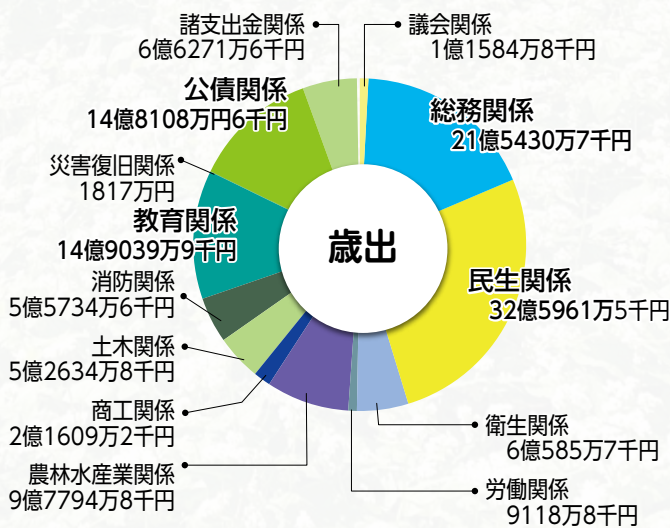
歳入総額 **126億2436万9千円**

まんのう町に入ったお金



歳出総額 **121億5692万円**

まんのう町が支払ったお金



※歳入・歳出総額は、千円単位で四捨五入

令和7年度一般会計補正予算（案）（第1号）、町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正、早期支援教育センター設置条例の一部改正、町民体育館条例の一部改正など6議案の審議を行い原案通り可決した。

また、令和6年度一般会計及び4つの特別会計等の歳入歳出決算の審議を行い認定した。

人権擁護委員の推薦に同意した。

9月定例会

令和6年度決算認定

各常任委員会で所管する案件について、執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め、慎重に審査を行った。

【認定第1号】

令和6年度一般会計歳入歳出決算認定

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分の審査、質疑を行い、執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

▼証明書発行

委員 戸籍・住基等に関する証明書交付件数の減少は、人口減少によるものか。

執行部 人口減少もひとつの要因ではあるが、マイナンバーカードの活用等による影響も考えられる。

▼出産祝い金

委員 出産祝い金の第1子、第2子5万円について、引き上げの検討を求める。

執行部 近隣市町の状況を踏まえつつ、財政余力の中で実現を図りたい。

出産祝金一覧

区分	支給額
第1子	50,000円
第2子	50,000円
第3子	100,000円
第4子	100,000円
第5子	100,000円
第6子	100,000円



▼子宮頸がんワクチン

委員 国が積極的勧奨を控えたことで接種機会を逃した人を対象に実施する最終年度後の勧奨方法や副反応情報は。

執行部 経過措置を設け継続して勧奨を行う。接種による町内での副反応報告は無い。

▼不妊不育治療

委員 不妊不育治療の状況は。

執行部 人工授精やホルモン療法・タイミング療法などの一般不妊治療が6件と、体外受精や顕微授精、男性の不妊治療などの生殖医療が7件であった。

▼監視カメラ

委員 工事請負費にある、監視カメラ設置工事の設置場所は。

執行部 町が管理している道路に、太陽光電源を利用した2方向監視カメラを設置した。住民用には、ダミーカメラの貸し出しを行っている。



設置された長炭小学校バスケットゴール

▼環境美化事業費増加

委員 環境美化事業費が急増している原因は。

執行部 産業廃棄物の不法投棄増加に伴う、環境美化看板や監視カメラの購入費、及び、事故動物の一時保管用冷凍庫の購入費が増加要因。

▼遊具の更新・購入

委員 こども園・小学校遊具の更新・購入内容は。

執行部 こども未来基金を活用し、長炭小学校の校庭にバスケットゴールを設置、こども園では、危険となった遊具を新しいものに交換した。

▼LED照明改修

委員 小学校におけるLED照明改修工事は全校完了したのか。

執行部 令和7年度の工事を以って、全ての小学校が完了予定であり、満濃中学校は、過疎計画に基づく実施計画を提出している。

▼遺跡発掘調査事業

委員 町内遺跡発掘調査事業費における、尾背廃寺跡詳細地形図作成等の委託料は何か。

執行部 レーザー測量機器による測量をデータ化し、精度の高い地図作成の費用であり、現在進めている尾背廃寺の調査に関連するものである。

▼名勝満濃池の通景確保

委員 名勝満濃池通景確保調査委託料とはなにか。

執行部 満濃池の景色を眺めるための特定地点である視点場の4か所と堰堤の現況調査を行い、整備手法を検討する資料を作成するものである。

▼サンスポーツランド

委員 サンスポーツランド管理の工事請負費の内容は。

執行部 日除けテント2基、テニスコートの張替え、防犯カメラ設置、休憩場の舗装である。



日除けテント

《建設経済常任委員会関係》

▼買い物支援の動向

委員 琴南地区の買い物支援事業の状況はどうか。

執行部 令和7年3月31日をもって委託業者が撤退した。しかし、支援を必要とする4世帯は、商工会により支援を継続している。

今後の支援のあり方を検討中である。

▼マスコットで盛り上げる

委員 本町のマスコットである「まんテンちゃん」による町の活性化を図っているが、まんテンちゃんが頭部に装着している装飾品を模したカチューシャをスタッフも着けることで、さらにイベントを盛り上げたいと計画していたが、その後の進捗状況は。

▼各種

執行部 イベントでの活用を想定し、現時点で5個を製作済みである。



▼森林環境譲与税

委員 使途については、各市町において公表の義務がある。しかし、令和6年度分については、本町のホームページや主要施策の成果に関する報告書にも掲載されていないがなぜか。

執行部 主要施策の成果に関する報告書には掲載していないが、

ホームページでは公表している。令和6年度分については現在作成を進めている。

▼香川用水負担金

委員 取水制限が実施されても町の負担金額に変化は生じないのか。

執行部 取水制限が実施されても負担金額は変わらない。

《総務常任委員会関係》

▼財政の比率と展望

委員 実質公債費比率が低下している要因は何か。また、地方債は借入より返済が多くなっているが、現在高の状況はどうか。

執行部 実質公債費比率は年々低下しており、今後は7%台になると推測する。要因としては、PFIで実施した満中など大型事業分の返済が終了したことがある。地方債現在高は、令和6年度末で約125億円あり、毎年14～15億円を返済しており、新規借入がそれほど多くないため減少している。

▼議会事務局の人員

委員 本会議のインターネット

配信など答申内容を実現するために、議会事務局の予算、人員増が必要ではないか。

執行部 合併以降、職員数を削減してきたが、業務量は増加している。全体の職員定数もある。総合的に判断していきたい。

▼ハラスメント研修

委員 研修の成果はどのようなか。また、今年度も継続して実施しているのか。

執行部 昨年度は7月に3回に分けて、南部消防職員と合同で実施しており、今後も継続したい。なお、今年度は、琴平町と合同で、**※**カスタマーハラスメントの研修を予定している。

※カスタマーハラスメント（カスタハラ）顧客が企業等に対して理不尽なクレーム・言動をすること。具体的には、事実無根の要求や法的根拠のない要求、暴力的・侮辱的な方法による要求など。



▼福祉タクシー

委員 利用者が減少しており、「昼間でもタクシーが来ない」「助成券が使えない」といった声も聞く。制度が十分に機能していないようだが、どのように総括しているのか。

執行部 高齢化に伴いタクシー運転手が減少している。人件費補助が必要になるが、実施可能かどうかは課題がある。地域公共交通計画協議会で協議し、その答申を尊重する。

▼投票率の向上

委員 移動期日前投票車を設置したり、若い人を立会人として公募するなどの取り組みが行われている。新たな取組みの議論をしているのか。

執行部 参議院選挙では、期日前投票の立会人に50代の方から応募があった。若い世代の投票率向上に向けて、高校へのアプローチや中学生への模擬投票など、先進事例を研究している。

▼消防団員の定数

委員 定数が470人に対し、実団員数は359人であるが、昼間の有事に活動可能な団員はどの程度いるのか。

執行部 おおむね半数程度と推測する。



▼ボートレース収入の増加策

委員 収入額を増やすために、中部ボートレース組合主催の開催日を増やすことは可能か。

執行部 開催は、協定書により、月2回、年間24回であり変更は困難である。令和6年度は町として909万円の負担金を支払い、4732万円の配分金があった。



住民の生命と財産を守る

〔認定第2号〕

令和6年度国民健康保険特別
会計歳入歳出決算認定

保険給付費、保険事業費納付金、直営診療施設内科・歯科診療所の運営状況・決算状況等の各分析表に基づき詳細な説明があった。被保険者数の減少に伴い、決算額は減少したものの、一人当たり医療費は県内市町の中でも高い水準にあるが、保険料の収納率は98%を確保しており、国保財政は安定しているとの説明を受けた。



内科診療所(造田)

主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

▼内科診療所

委員 医師の交代があったが、運営に支障はないか。

執行部 着任時に健康診断や血液検査を実施し、住民の健康状態を把握しており、安心して受診いただいている。

〔認定第3号〕

令和6年度後期高齢者医療特別
会計歳入歳出決算認定

後期高齢者医療広域連合納付金、諸支出金、被保険者状況や事業の概要・決算の分析等の詳細な説明があり、令和6年度は均等割り額、所得割率ともに引き上げられたことに加え、被保険者数も増加したため、保険料が増加したとの説明を受けた。

原案
認定

〔認定第4号〕

令和6年度介護保険特別会計
歳入歳出決算認定

介護サービス等諸費、支援サービス等諸費等の保険給付費、介護認定審査会費、地域支援事業費、包括的支援事業・任意事業費、介護予防・生活支援サービス事業費、総務費等の詳細な説明があり、各サービスの保険給付費は、前年度から減少しているが、要介護認定前のケア費用が増加し、全体としては微増となっているとの説明を受けた。

主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

▼地域支援事業

委員 地域支援事業の担当職員減少による住民対応等への支障は出ていないか。

執行部 業務の割り振りにより対応しており支障はない。

原案
認定

〔認定第5号〕

令和6年度下水道事業会計
歳入歳出決算認定

決算額は3億87万8千円で、前年度比55・2%の増額。公会計から企業会計へ移行したことに伴い、減価償却費が計上されたことによる増額である。

歳出では、収益的支出として、営業費用1億6738万5千円、営業外費用1068万1千円、特別損失400万6千円、資本的支出1億1880万6千円。

歳入の主なものは、下水道使用料5454万7千円、他会計負担金および補助金1億638万7千円、その他企業債7020万円などである。

令和6年度の供用開始人口は2632人、接続人口は1909人であり、公共下水道普及率は15・5%であった。

原案
認定

報告

【報告第1号】

専決処分
の報告
(保育料請求事件)

保育料滞納者に対する未払い保育料支払い督促の申し立てについて、専決処分した旨の報告を受けた。

【報告第2号】

令和6年度健全化判断比率
及び資金不足比率

資料の提出と説明を受けた。

1. 健全化判断比率

(単位: %)

区分	令和6年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	実質赤字額はない	14.00	20.00
連結実質赤字比率	連結実質赤字額はない	19.00	30.00
実質公債費比率	8.5	25.0	35.0
将来負担比率	将来負担額はない	350.0	

2. 資金不足比率

(単位: %)

公営企業会計の名称	令和6年度	経営健全化基準
下水道事業会計	資金不足額はない	20.0

監査委員の審査意見

本町の健全化判断比率は法令の定める基準を下回っており良好な状態にあるといえる。今後も財政規律を維持し健全な財政運営と財政基盤の強化に努められたい。

また、各事業会計においても前年度と同様に資金不足が生じた会計はなく、今後も効率的な運営、健全な経営に努められたい。



※1 健全化判断比率

① 実質赤字比率

地方公共団体の中心的な行政サービスを行う一般会計等における実質的な赤字を示す比率。赤字が生じた場合、この赤字は翌年度に繰り越され、翌年度においても赤字が解消されない場合は赤字が累積していくことになる。

この比率が大きい(プラスになる)ほど、財政運営は厳しい状況になる。

② 連結実質赤字比率

国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計等の特別会計のほか、公営企業会計(下水道事業会計)を含めた実質的な赤字を示す比率。

この比率が大きい(プラスになる)ほど、財政運営は厳しい状況になる。

③ 実質公債費比率

町の地方債(借入金)の公債費(返済額)の大きさを、町の財政規模に対する割合を示す比率。公債費が大きくなれば、その分財政の弾力性が低下し、政策に使える財源が不足するため、円滑な行政運営を営むことが困難となる。

この比率が大きいほど借入金の返済に追われ、資金繰りが厳しい状態になる。

④ 将来負担比率

町が将来支払義務が生じると見込まれる負担の大きさを示した比率。一般会計等が将来支払っていく負債のほか、職員の退職手当、公営企業等の他会計や一部事務組合の地方債残高のうち、一般会計等が負担するもの、また第三セクターのうち、町が損失の補償を契約しているもの等が含まれる。

この比率が大きい場合、将来において財政運営上の問題が生じる可能性が高くなる。

※2 資金不足比率

公営企業の経営状況を、公営企業の料金収入等に対する資金不足の規模で示した指標。なおこの比率の算定においては、将来の料金収入等で解消することが予定されている資金不足については差し引くこととされている。

この比率が大きいほど、経営が厳しい状態になる。

即決案件

【議案第1号】

町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令の改正に伴い、国会議員の選挙運動費用の公費負担額について、一部費用の限度額の引き上げが行われた。これに合わせて、町議会議員及び町長の選挙運動の公費負担額(ポスター作成の上限単価等)についても同様の改正をした。



【議案第2号】

早期支援教育センター設置
条例の一部改正

早期支援教育センターは、平成27年10月より旧仲南北幼稚園において業務を行ってきたが、施設の老朽化に伴い、令和7年4月に仲南支所2階に移転した。これにより、施設の位置を「まんのう町宮田751番地4」から「まんのう町生間415番地1」に変更した。なお適用日は令和7年4月1日。



【議案第4号】

字の区域の変更

まんのう町長尾において、県営中山間地域総合整備事業まんのう地区（ほ場整備事業）田淵地区第1工区を施行したことに伴い、従来の字界が原型をとどめなくなったため、新たに字界を定めた。



【諮問第1号】

人権擁護委員候補者の推薦

○東高篠 久留嶋 一之 氏（再）
かすみ いさお
○吉野 片井 功 氏（新）
かたい いさお
○佐文 白川 由里子 氏（新）
しろかわ ゆりこ
（任期）3年間（但し、任期満了後も後任者が委嘱されるまでの間、その職務を行う）



付託案件

教育民生常任委員会

【議案第3号】

町民体育館条例の一部改正

現在、避難所環境整備として、空調整備工事を実施している吉野体育館の、一般開放で使用される場合の冷暖房使用料を各小学校体育館の料金を参考に改訂し、施行

は、令和7年10月1日とした。



空調設備が完了した吉野体育館



【議案第6号】

令和7年度介護保険特別
会計補正予算（案）（第1号）

歳入歳出予算額に変更はないが、令和7年度から8年度の期間において、債務負担行為の追加をした。



総務常任委員会

【議案第5号】

令和7年度一般会計補正予算
（案）（第1号）

歳入歳出それぞれの総額に3億2602万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ130億8602万4千円とする。

歳出に関する主なものとして、地方創生推進事業費で島ヶ峰展望台設置工事、認定こども園費で満濃南こども園保育棟拡張工事の増額、商工費で吉野桶樋地区企業誘致用地造成費、仲南振興公社関係施設管理委託料の増額、消防費で防災備品費の増額、小池・福良見・照井消防屯所整備費などである。財源の主なものとして、合併特例債や緊急防災・減災事業債などの有利な地方債を充てる。



整備が待たれる高篠小学校駐車場

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分の審査、質疑を行い、執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

▼《教育民生常任委員会関係》
高篠小学校駐車場整備
委員 整備中の高篠小学校駐車場の所有権移転はいつか。
執行部 9月22日のJA理事会承認後、JAと町において契約締結を行う。所有権移転登記が完了し、整備後の利用については、高篠小学校へ許可申請を行うことになる。

▼《町民文化ホール》
委員 ホール内の転落防止柵は何処へ設置するのか。

執行部 ホール両サイド上部から客席へ出入りする際の転落等、危険防止の為に柵を設けるものである。

▼《建設経済常任委員会関係》

▼《島ヶ峰展望台建設工事》

委員 建設計画を事前にもっと説明すべきである。なぜ9月補正となったのか。

執行部 島ヶ峰地区の再耕起作業が完了した。来年度に本町で「日本でも美しい村」連合の総会が開催されることとなり、島ヶ峰を現地視察の候補地としている。町内、町外に広く原風景や讃岐山脈の素晴らしい景色を見ていただきたいと考え、今回の9月補正で計上した。

委員 展望台は擬木と聞くが、町産材を利用するべきではないか。



島ヶ峰現地視察

執行部 木材を使用するとデッキの腐食対策として屋根が必要になり高額になる。防腐加工材は近年は環境面の配慮から製造が少なくなっている。

委員 展望台の年間利用計画について質疑があった。

執行部 そばの花の時期だけでなく、年間を通じて利用できるようにしたい。



仲南産直市

▼《仲南振興公社指定管理料の増額》
委員 現時点での執行部の考えを改めて伺いたい。

執行部 9月議会の補正予算には、仲南振興公社への指定管理料増額及び債務負担行為の変更は、7年度末までの予算であり、8、9年度分は計上していない。

今回は、先般の全員協議会で十分に議論がなされた。今後の指定管理の在り方は、財務分析を委託している三和会計事務所から、10月末までに今後の在り方の報告を受ける予定である。その結果を踏まえ、執行部として結論を出し、12月定例会ごろの全員協議会で報告し、7つある指定管理施設全体の運営をどうするのか、最終判断を行いたい。



最終報告

議会のあり方検討会



答申書提出（8月28日）

議長の諮問を受けて、令和8年4月の任期満了に伴う改選後の議会の一層の活性化と議会活動の充実を図るため、その具体的検討を行うことを目的として、町議会基本条例・会議規則・委員会条例の見直しを中心として「議会のあり方検討会」を設置し、議論を重ねてまいりました。

このたび、「議会のあり方検討会」での取りまとめが完了いたしましたので、議長に答申書を提出するとともに、住民の皆様にご報告いたします。

● 議会の運営

- ・町議会基本条例・会議規則・委員会条例等に定めのない事項については、全国町村議会議長会が制定した「町村議会の運営に関する基準」をはじめ、議員必携に記載された事項に従い議会運営を行う。

● 議会の活性化・議員力の向上

- ・傍聴者を増やす方策として、議会日程の周知を早める。
- ・本会議について、音声だけでなく画像でも発信できるよう検討する。
- ・議会報告会や議会だよりの一層の充実により、身近な議会を目指す。
- ・国への陳情や要望活動に引き続き取り組み、町課題の前進を図る。
- ・大規模災害に備え、議会のオンライン開催についても研究していく。
- ・議員個々が、自主的な研修・活動を周知する広報活動などを活発に実施していく。
- ・様々な議会・議員活動の充実を図るとともに、改革を支援する役割を担う事務局体制の充実を要望する。



● 常任委員会

- ・議員定数が14人となることから、2つの常任委員会体制が適切であるとする。各常任委員会は、7人ずつの体制とする。
- ・予算及び決算については、所管委員会が最終審議・審査を行い、その可否を決定するものとする。

● 各広域議会議員の選出

- ・中讃広域行政事務組合は、議長・副議長の2名と、その他の全議員の中から1名を選出する。（従来の状態に戻す）
- ・他の広域議会議員の選出については、従来の申し合わせの通りとする。

● 特別委員会

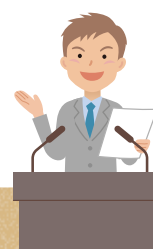
- ・議会広報特別委員会を設置し、2つの委員会から各3名、計6名で構成する。新人議員は優先的に所属することとする。

● 一般質問

- ・効率化を図り、住民に分かりやすく伝える観点から、議員の質問時間は30分以内とし、議員・町長（執行部）の答弁を含めて60分以内とする。

● 研修費・活動費

- ・議員がより意欲を持って活動できるよう、待遇改善策の一環として、他市町の事例を参考にしながら研修費や活動費の新設を検討していく必要がある。



● 今後、議会運営委員会等での審議を経て、議会として最終的な決定を行う予定です。

教育民生常任委員会 報告

●生ごみ処理

電気式生ごみ処理補助制度

【委員】電気式生ごみ処理機の補助額について、1件当たりの金額が異なるのは何故か、また、制度の周知方法はどうしているのか。

【住民生活課長】補助額は購入額の2分の1で、上限を4万円としており、購入した処理機の価格によって差が生じる。住民への周知は、町広報に掲載している。

●介護保険事業

実質数値が減少

【委員】介護保険事業の実績数値が3年間に亘り減少している要因は何か。

【福祉保険課長】現状は、人口の減少に連動して認定者数も減少している。団塊の世代が85歳を超えると認定者率の上昇が予測され、近い将来において各数値は上昇傾向に向かうと推測する。

【委員】訪問事業においてケアマネージャーの実績が大きく減少している要因は何か。

【福祉保険課長】今年度はケアマネージャー職員が1名減となっているためであるが、事業所・医療機関等と連携し、対象者への情報確認は定期的に実施しており、サポート体制は確保しているものの、戸別訪問の回数が減少している。一方で独居世帯や高齢者世帯への訪問は増加している。

●レインボーネット

事業内容は

【委員】レインボーネットの事業内容は何か。

【健康増進課長】ことは相談やぐんぐん相談と同様に、こどもの発達に気になる保護者からの相談や保護者間の交流の場である。

●学校適正配置検討準備委員会

開催時期は

【委員】進捗状況はどうか。

【学校教育課長】開催の遅延をお詫びする。現在は、外部構成委員の最終選考を行っており、早期の委員会開催を目指している。

●町立図書館

図書の入替えは

【委員】町立図書館の図書の入れ替えと、撤去した図書はどうしているのか。



新書コーナー

【生涯学習課長】月に6回程度、1回あたり40冊から60冊の図書を入れ替え、撤去した図書は、貸し出し要望に対応できるように書庫等で保管している。



●みどり米田植え

どのような品種

【委員】みどり米とはどのようなものか。

【生涯学習課長】原種に近い古代米の一種で、もみが濃い緑色をしたモチ米で、地元の児童が手で植え、鎌で刈り取り、天日乾燥を経て、公民館まつりの際には杵と臼を使った餅つきを行い、来館者に振る舞う体験学習を実施している。



すくすくと育つみどり米



建設経済常任委員会 報告

●現地視察

大倉工業(株)仲南工場で視察を行い、その後(株)オクラプレカットシステム of 集成材工場を視察した。



真剣に聞く工場説明(大倉工業)

●農地干ばつ

●渇水地域

【委員】今年は全国的に干ばつと言われているが、町内における水不足の状況を町



ロボットによる作製・組立て(プレカッ工場内)

としてどのように考えているのか。

【農林課長】土器川を水利とする水田地域では、頭首工よりも川の水位が低下しており、取水が困難であったため、水利組合の協力のもと、渇水地域に対し、池の水を活用していただいた。

●ため池

●貯水状況

【委員】ため池の貯水状況の資料には、各ため池の貯水率、貯水量、有効貯水量が記載されているが、なぜ満濃池の貯水状況が掲載されていないのか。

【建設土地改良課長】次回からは、満濃池の貯水量、貯水率、有効貯水量も資料に掲載する。



満濃池の貯水状況

【委員】満濃池の水道供給量を町として把握しているのか。

【建設土地改良課長】満濃池の管理は満濃池土地改良区が行っているため、役場には報告がない。今後、協議のうえ報告をいただくようにする。

●地域応援商品券

●一次年度の発行は

【委員】地域応援商品券発行事業について、令和8年はどのように考えているのか。また、今後の商品券をカード制アプリを用いた電子決済方式にできないか。

【地域振興課長】今年度は国から交付金があったため実施できたが、交付金がない場合は困難である。また、商品券のカード制、アプリ制および携帯電話を用いた電子決済方式については検討していく。

総務常任委員会 報告

●期日前投票所（琴南）

一 周知方法の研究を

【委員】琴南地区での期日前投票を拡充したが、知らない人が多い。周知方法を研究し、対策をしてほしい。



期日前投票所
上：琴南支所
左：琴南総合センター

【総務課長】参議院議員選挙において、2ヶ所で3日間にわたり81名が来られたが、次の選挙に向けて周知対策を強化したい。

●参議院議員選挙

一 投票率上昇

【委員】今回の参議院議員選挙の投票率が、前回より上がったことをどのように分析しているのか。

【総務課長】入口等に段差のない、空調設備が整っている施設に投票所を統廃合するなど、投票環境整備が向上したことでマスコミ等の報道や各政党の主張などにより、全国的に政治への関心が高まったことから、投票率が9・38%上昇し55・3%となったと考えている。

●地域公共交通

一 今後の展望は

【委員】モビの利用が増えている一方で、あいあいタクシーの利用は減少している。本町は平坦部から山間部まであるので、今後のどのように役割をすみ分けていくのか。

【企画政策課長】あいあいタクシーは事業開始から20年ほどが経過し、町民の二

ズが変化してきていると感じる。地域公共交通政策に係るアンケートでは、現行車両では乗り降りの段差に負担を感じているとの意見があった。また、モビは現在2台で運行しており、増車すれば運行区域拡大も可能と思われるが、琴平町やタクシー事業者との協議が必要である。



一 法定協議会の内容は

【委員】地域公共交通計画に係る法廷協議かではどのような議論がされたのか。

【企画政策課長】現在、国の幹線補助金が出ていないバス路線にフィーダー補助

金を貰えるようにすることと、町内で試験的に運行していたモビを本格的に運行することについて審議された。

●町道の草刈り業務

一 原則入札

【委員】町の草刈り作業班が廃止になったが、その後の対応はどう行うのか。

【仲南支所長】建設土地改良課の作業班を廃止したことに伴い、原則として指名競争入札により町内業者に発注しているが、緊急性、その他やむを得ない場合には、随意契約で対応している。



第17回 議会報告会(意見交換会)

町の将来や課題について、また議会へのご意見などをお聞かせください。



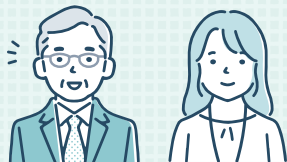
どの会場でも自由にご参加ください。

班	議 員 名	11月18日 (火)	11月19日 (水)
		19 時～ 21 時 	13 時～ 15 時 
A	◎ 川 原 茂 行	まんのう町役場 (大会議室)	琴南公民館 (2 階 洋室)
	大 西 豊		
	白 川 正 樹		
	三 好 郁 雄		
	京 兼 愛 子		
	鈴 木 崇 容		
	真 鍋 泰二郎		
B	◎ 松 下 一 美	仲南公民館 (第 3 研修室)	スポーツセンター まんのう (会議室・研修室)
	白 川 皆 男		
	合 田 正 夫		
	川 西 米希子		
	竹 林 昌 秀		
	常 包 恵		
	石 崎 保 彦		

※◎は各会場の班長です。※大西樹議長は、いずれかに参加します。



議員が町の考えを問う！



一般質問は、議員が町政全般について
現状や方針を問うものです。
これに対し、町は今後の事業の進め方や
問題解決のための考え方を答えます。



9月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ(議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/life/4/25/>) に掲載していますので、ご覧ください。

一般質問の記事原稿は、質問した議員の責任において執筆しています。

竹林 昌秀

- 農村工業導入した企業の経済活動の報告を求める。経済センサスの本町の産業別就業者、売上げ、事業者数の合併時からの推移の報告を求める。
- 省庁の政府概算要求書が8月末に公表されて、次年度の施策の内容が明らかになった。本町が導入できそうな施策の説明を求める。
- 年次の成果報告書を事務事業評価できる記載を求める。決算審査こそ、次年度予算編成の方向性を決めて、基軸を形成する。いかがか。

16p

鈴木 崇容

- 大規模災害を見据えた、防災・減災対策の強化は
- 生成 AI・IOT を活用したデジタル人材の育成は

16p

川西 米希子

- 子育て支援の充実とファミリーサポートセンターの導入
- 町職員への空調付き作業服の導入

17p

常包 恵

- 町の価値(注目度)を上げる
- 職員採用
- エアコン購入補助

17p

石崎 保彦

- 仲南地域におけるエコツーリズム推進

18p

大西 豊

- 令和7年3月18日、高屋原浄水場における水道水の濁水事故

18p

真鍋 泰二郎

- 「まんのう町未来ノート」の普及と活用

19p

川原 茂行

- 治水対策

19p

農村工業導入の実績

問

産業別の事業所はどうか

答

製造 9、運輸 1、不動産・賃貸 1 社


 たけばやし まさひで
竹林 昌秀
 議員

 経済を
 循環させるのは
 企業誘致だ

竹林 農村工業導入の成果を問う。

町長 町内雇用者16%で、法人住民税の36%あつて、固定資産税は町全体の12%を占める。

竹林 雇用の町内外の収支はどうか。

町長 国勢調査では、町外から3116人が来て、町外へ4597人が勤めに出ている。10年前は各々2589人と4669人だったから、本町の雇用吸収力は20%向上した。その収支は1980から1481人のマイナスへと、改善された。本町は丸亀へ1236人、高松へ725人が通う。周辺以外への通勤者が502人もいることに注目したい。

竹林 土地開発公社は用地購入から、造成、売却までを、財務諸表で資金と資産を総合して、掌握出来る。果たした役割は何か。

町長 用地確保を円滑しにして、整備を支えた。

竹林 町長は工業導入をどう評価するのか。

町長 企業用地はすべて活用できている。企業誘致奨励金により、昨年度は2社誘致して、今後も積極的に進める。



敷地一杯の設備投資

防 災

問

地震災害の
甚大な被害の備えは

答

安心して避難できる環境を整えて行く


 すずき たかひろ
鈴木 宗容
 議員

 最大限の
 できる備えをやる

鈴木 本町に空調設備が整っている指定避難所はいくつあるのか、また支援物資の受け入れ窓口はどこが行うのか。災害時の緊急避難所として空き家を活用する考えはあるのか。また、家屋倒壊により被害を受けた方の罹災証明書はどこが発行し、準備するのか。

町長 町内には指定避難所が28ヶ所ありその内21ヶ所に冷暖房設備が整備されている、また、支援物資の窓口は基本的に役場が全体調整の役割を担う。空き屋の活用は、避難所として指定するには、トイレ、水の確保、衛生管理、所有者の同意と直ちに制度として導入する

鈴木 デジタル化が進み、行政として業務の効率化、町民サービスの向上、働き方改革などを鑑み、生成AI、IoTを活用したデジタル人材育成の考えはあるのか。

町長 県内市町の動向は10の市町で導入が進んでおり、町としても、生成AIの業務活用に向けて進め、AIと協働できるよう省庁とデータを連携し標準化された知識基盤を活用する人材育成を行うように考えている。

デジタル人材の育成

問

生成AIを活用した
人材育成の考えは

答

生成AIの業務活用に向
けて検討する

事は難しいが今後、民間事業者と連携を検討していく。罹災証明書の申請窓口は役場で発行する。

子育て支援の充実

問

ファミリーサポートセンターの導入を

答

現時点では家庭での協力や近隣の社会資源を活用してもらいたい



かわにし まきこ
川西 米希子
議員

子ども保護者も
笑顔あふれる町に

町長 原則できない。

川西 町外に住む孫を一定期間預かった場合、本町のこども園や保育所で一時保育することはできないか。

町長 本町は祖父母の支援を比較的受けやすい環境にあると推測する。他市町の民間事業所が運営する一時預かりを利用することも可能である。周知については、社会資源が限られていることから積極的には行っていない。

川西 本町の子育て支援は、日常生活で利用できる支援が不足している。短期入所生活支援事業、夜間養護等事業は、民生委員等にも周知されていない。速やかに支援が届くよう周知を。また、里親の受け皿を増やす取り組みも重要ではないか。

町長 関係機関と連携し、支援体制の構築に向けて令和8年度中の実現を目指す。

川西 国が令和8年度中に設置を目指す「子ども家庭センター」について、本町での対応状況は。町長 物理的に難しい。子育て相談や手続きを総合的に受け付けて、関係課と連携する窓口が必要ではないか。

空調付き作業服

問

町職員に空調付き(ファン付き作業服)の導入を

答

試行的導入を含めて前向きに検討したい

川西 命にも及ぶ危険な猛暑日が年々増えている。職員の健康が守られることで、住民サービスの維持向上にもつながると思う。町長 労働環境を整えることが、住民への円滑かつ質の高い行政サービスの提供につながると考える。前向きに進めていきたい。



問

障害者枠、高卒枠の採用試験を

答

来年度、高卒枠の募集前向きに



つねかね めぐみ
常包 恵
議員

大勢に応募して
もらえるように

町長 障害のある方の雇用機会の確保は重要である。しかし、小人数規模の自治体として受験者確保や配属体制に課題があり、これまで実施できていない。高卒枠については、来年度の募集を前向きに検討していく。

町長 障害のある方の雇用機会の確保は重要である。しかし、小人数規模の自治体として受験者確保や配属体制に課題があり、これまで実施できていない。高卒枠については、来年度の募集を前向きに検討していく。

常包 琴平町、綾川町など近隣町ではすべて障害者枠の職員採用試験を実施している。なぜ本町ではできないのか。高卒枠の職員採用試験も3年実施していない。

エアコン設置助成

問

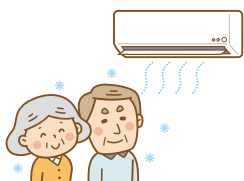
エアコンは命を守る必需品

答

県内の自治体の動向を注視

町長 熱中症で搬送された方の人数、発症場所、年代などの状況は。命にかかわる暑さが続いており、来年以降も厳しくなると思う。生活厳しい家庭でエアコン未設置世帯に対して、住民の健康、命を守る施策を求める。

町長 10年前に比べて約2倍の22名を搬送。内、20人が65歳以上で、エアコンがない、不明の方が5名。また、屋内での発症が18名である。今後危険な暑さが続くものと考えられるので、県内自治体の動向を注視していく。



職員採用



仲南地域のにぎわい

仲南地域を
エコツーリズム推進地域に

答

提言内容を参考に観光事業の底上げに取り組む

いしざき やすひこ
石崎 保彦
議員仲南地域は町の
エメラルド

石崎 町長の仲南地域への思いと今後の発展をどう描いているのか問う。現在、仲南地域を指定地域としている「まんのう町エコツーリズム推進全体構想」に仲南地域を加えて、阿讃山ろく東西がつながる「自然と文化の回廊」をつくれれば、「滞在型・周遊型・体験型」の広域観光ルートが実現する。琴南町・仲南町がともに賑わう地域観光づくりを提案する。

町長 仲南地域には「自然・歴史・文化」等の魅力的な資源が沢山ある。他の地域と連携し、一体とした区域に「点」で存在する観光資源を「面」として繋ぎ、観光客が滞在・周遊できる魅力ある地域づくりを促進する取り組みは必要である。このような構想は、まんのう町の観光の底上げには必要であり、ご提案戴いたように、観光面のみならず教育プログラムを組み込んだ体験型観光を検討して行く上でも必要と考える。

石崎 温泉・道の駅・飛行館の方向性がポイントになる。住民や町民の意見に寄り添いながら、大胆な再構築も必要である。例えば、「もみの木峠」は、まんのう町が世界に誇る「飛行原理着想」の地であり、航空史のメッカとなれる。紙飛行機のギネス記録挑戦の場としての賑わいづくりも面白い。

町長 このような検討を行う中で、多くの観光客の誘致を目的とした、観光事業として取り組むのが良いのか、自然観光資源の保護に配慮しつつエコツーリズム事業として推進するのが良いのかを検討したい。

高屋原浄水場

高屋原浄水場における水道水の
濁水事故の総括について問う

答

今回の事案を受け町民の皆さまへの迅速で的確な情報提供の重要性を認識した

おおにし ゆたか
大西 豊
議員「総括」は単なる
振り返りではなく過去の
活動を客観的に評価し、
次のアクションにつな
げるための重要な
プロセスだ

大西 前回の一般質問において、町長から「今回の事故を受けて、水道企業団に対し事故の未然防止に向けての機器類の改善や再発防止について申し入れをしている。なお、企業団が水道料金の減免対応等の対応が終わった段階で、まんのう町として改めて今回の濁水対応について総括したい」との答弁があったが、その総括の結果を具体的に説明してほしい。同時に文書化したのか。

町長 広域水道は町が直接管理しているものではなく相互協力を行うものであり口頭で整理するのみで文書化の予定はない。

町長 広域水道は町が直接管理しているものではなく相互協力を行うものであり口頭で整理するのみで文書化の予定はない。

マニュアルは作成したら終わりではなく、常に最新状態を維持する必要がある。町長の答弁では「管路事故対策マニュアルに沿って対応に当たった」とあるが、**実際事故が発生した以上、そのマニュアル自体の有効性に疑問が残る。**検証や改訂は行われたのか

マニュアルについて

町長 今後の行動計画としては町として、企業団の再発防止策が実効性のあるものとなるよう適宜申し入れを行うなど注視してまいりたい。

まんのう町未来ノート

問

福祉・教育・空き家対策などの
施策間連携は

答

将来的に様々な連携を考えたい



まなべ たいじろう
真鍋 泰二郎
議員

未来ノートに
想いを託そう



真鍋 「まんのう町未来ノート」はどのような背景や目的で作成されたのか。これまでの作成状況と普及・啓発はどうなっているのか。

町長 高齢化の進展に伴い、認知症や一人暮らし高齢者の増加により、医療・介護・生活支援などの課題が増える中、本町ではACPI（人生会議）の普及を目的に、今年度より配布している。具体的な医療やケアを決められなくても、自分の希望する生き方を家族等と話し合う過程を大切にしていただきたいと考えている。当初2000部を作成し、現在約1200部を

配布している。4月にはケアマネジャー連絡会で紹介、続いて町内医療機関へ郵送で趣旨を伝えた。6月からは町内9か所の薬局にも設置し、追加配布が必要になるほど活用いただいている。さらに公民館や支所にも置き、認知症カフェ、民生委員等の研修などで、保健師が説明を行い普及啓発を進めている。

真鍋 「まんのう町未来ノート」は単なる記録ツールとしてでなく、福祉・教育・空き家対策などの各施策との連携が考えられる。施策間の連携を検討しているのか。

町長 初年度の取り組みであり、具体的な検討はしていないが、生活全般に関わる課題、相続・死後の手続き、空き家等に備えることができると思うので、将来的には様々な課や組織との連携を考えたい。

※ACPI（アドバンス・ケア・プランニング） 自らが望む人生の最終段階の医療やケアについて、家族や医療・介護従事者と話し合い共有する取り組み

問

今後、多様な水害から
住民を守れるのか

答

水資源の確保と安定的な供給を考える

治水対策



かわはら しげゆき
川原 茂行
議員

治水対策を

川原 近年の気候変動で水資源の確保が、非常に大きな問題である。今後、ダムとの必要性や、国・県との連携や交渉の際には専門的な職員の育成が最も重要課題だ。現状のため池では近年の渇水時には水が足りない。また、渇水が洪水が極端である。河川の源流は本町にあり、どこに源水を求めていくのか。水源確保の姿勢を問う。

町長 本町では、生活用水の安定供給を図るため、満濃池や地蔵前水源、更には地元水利組合の協

力を得て水源を確保していく。併せて農業用水についても、ため池や河川施設の維持管理等、施設整備を通じて、水源の確保と安定的な供給に努める。

また、職員育成についても検討していく。渇水・洪水対策は水利組合、関係機関と連携し、情報共有と協力体制を強化して持続可能な地域づくりに努める。



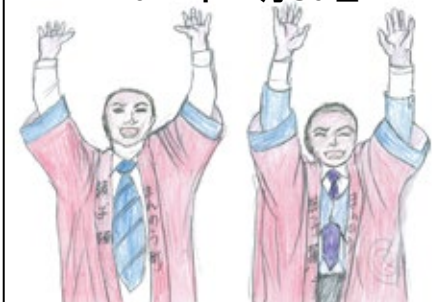
満々とたたえて



ペンネーム

作・画 願井 叶

2022年11月30日



祝 ユネスコ
綾子踊
無形文化遺産登録

ユネスコ登録が
ゴールではなく
新たなスタートです。



佐文で小学生男子6名の
確保が難しくなります。
新たな試みを模索中
あります。



13年掛かって
一番目の願いであった
ユネスコ登録が
2022年11月30日に
叶いました。
あと二番目、三番目の
願いを叶えていこう。



To be continued

まんのう町の春夏秋冬

Magazine Photo Gallery

#人と自然が輝くまち



知事も絶賛♪



島ヶ峰そばの花見会
(琴南地区)



子どもと一緒に楽しい敬老会
(仲南地区 佐文公民館)



秋空のもと獅子が舞う
(高篠地区 雲氣八幡宮)

あとがき

委員 石崎 保彦

霜降・立冬・小雪・秋から冬へ向かう二十四節季の言葉です。もう秋が来ないのかと思うような今年の曇さでしたが、気が付けば、虫の声に心が和み、冴える月に心が洗われる季節になりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

早いもので今年もあと2か月足らずになりましたね。年の初めに立てた目標を思い出して確認してみましょう。達成できそうですか。まだ2か月も残っています。新しい年を迎えるために、今年をしっかりと締めくくりましょう。私も頑張ります。

今回も6名が力を合わせて作成した議会だよりです。最後までお読みいただきありがとうございます。みなさまから届く声を楽しみに待っています。

議会広報特別委員会

- 〈委員長〉白川 正樹
- 〈副委員長〉真鍋 泰二郎
- 〈委員〉川西 米希子
- 〈委員〉竹林 昌秀
- 〈委員〉鈴木 崇容
- 〈委員〉石崎 保彦



皆様のご意見をお聞かせください。mail : gikai@town.manno.lg.jp